

実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	28
学校名	富山県立伏木高等学校

学校の現状と課題	県内唯一の国際交流科単独校である本校は、国際理解とコミュニケーション能力の向上を中長期ビジョンに掲げ、スクール・ポリシーやアクションプランにおいても「国際交流活動の推進」を重点課題の一つとして掲げ、一定の成果をあげている。 国内でもめずらしい、第2外国語(中国語、韓国語、ロシア語)を学習し、国際人を目指す本校生徒の大きな学習の動機になっているのは、海外の方との交流であり、また自ら現地で体験する海外語学研修である。国際情勢が不安定ななかで、国際交流が可能な友好校と短期間ではあるが、海外語学研修等の交流学习プログラム(訪問・受入)を実施している。また、国際教育を深めるために現地での交流ができない友好校も含めオンライン交流に取り組んでいる。 本校の大きな特色であるSETプログラム(本校がALTと協働して独自に作成するオリジナルの毎朝5分間の英語放送)と第2外国語の学習をより充実させ、生徒の語学学習に対する興味を増し、また、身につけた語学を地域社会に還元し、地域の魅力を発信する取り組みを通して、地域貢献・地域交流を継続的に推進していきたい。	
テーマ(特色)	国際交流及び地域連携を通したグローバル社会における課題解決能力の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	中長期ビジョンの実現や課題解決のため、以下のテーマを設定した。 1 語学力及びコミュニケーション能力の向上 2 海外語学研修の実施できない交流相手校とオンライン交流活動と国内研修旅行の企画 3 環日本海諸国(中国、韓国、ロシア)の高校生との相互交流等による国際理解教育 4 地域の関係団体等と連携した諸活動	
実施内容 (具体的に記入する)	1 SET関連事業の充実(SETmusicCDの購入 及び カルタ大会等の実施) 2 友好校(中国、韓国、ロシア)との交流活動(受入やオンラインでの交流) 3 友好校(台湾・韓国)での海外語学研修、および国内研修旅行(国内のロシアに関連する施設を訪問)における交流活動 4 国宝・勝興寺の高校生目線による多言語パンフレット(英語・中国・韓国・ロシア語)の制作・配布 5 地域交流活動(日本文化を紹介 書道、琴など)	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	・語学力向上のためのSETプログラムの推進と充実を図り、コミュニケーション能力が伸長した。 ・姉妹校・友好校とのオンラインによる交流活動により、異文化を尊重し国際協力に貢献した。 ・海外・国内研修旅行における交流活動により、多様な文化や価値観を体験することができた。 ・国際交流科として、伏木地域の幼保・小・中学校等と語学の魅力を共有することができた。 ・伏木地域の文化観光資源(国宝・勝興寺など)の多言語リーフレット制作し、地域の魅力を発信した。 ・伏木地域の文化観光ボランティアの研修・実践を行い、地域の活性化を図った。	
対象者(学年・人数など)	1学年・50名、2学年・80名、3学年・99名	
実施実績	4月	・年間を通じたSET(Short English Time)プログラム(英語等のフレーズ学習)の実施
	5月	・年間を通じた友好校とのオンライン交流プログラムの実施(ロシア語講師)
	6月	
	7月	・職業人講話(講師9名) ・韓国友好校訪問団の受入れ ・地域(伏木地区)の幼保・小・中学校との交流(英語による交流)
	8月	
	9月	・海外・国内研修発表会(令和6年度派遣生)
	10月	・秋の勝興寺事業「黄葉フェスティバル24」(書道パフォーマンス、琴・万葉短歌バトルチームのコラボ演奏)
	11月	・年間を通じた友好校とのオンライン交流プログラムの実施(中国語講師) ・伏木地域の「推しスポット」を紹介する多言語パンフレットの制作・配布 ・第53回高岡市芸術祭(書道パフォーマンス)
	12月	・韓国(友好校)、台湾への海外語学研修および国内研修(ロシア極東大学函館校等)(2学年) ・ロシア文化講習会 ・地域(伏木地区)の幼保・小・中学校との交流(英語による交流)
	1月	
	2月	
	3月	・地域(伏木地区)の幼保・小・中学校との交流(英語による交流) ・国際交流に関する講演会(山梨学院大学 教授 講師)